

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスぷれも		
○保護者評価実施期間	令和6年9月1日		～ 令和6年9月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	71	(回答者数) 64
○従業者評価実施期間	令和6年9月10日		～ 令和6年9月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小人数グループと個別による支援・療育が基本のスタイルなので、利用者及び保護者との関りが多く、一緒に遊ぶ時間や話を聞く時間を大切にしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者との時間を大切にし、興味のある事を引き出しながら支援や療育につなげている。 ・「こども達の笑顔」と「ご家族を支えること」を大切に支援・療育を行って。 ・障害(知的・情緒など)別、発達状況に応じた個別支援(学習・トレーニング)ができています。 ・集団活動では、異年齢の子どもとの運動遊びやゲーム、創作活動などを通してルールやコミュニケーションスキルの習得に積極的に取り組んでいる。 	<p>今後も利用者及び保護者と話をする時間を大切にしてい</p> <p>く。</p> <p>保護者が困った時にどう応えていくか。困ったことや相談等、保護者が日々の中で「ぷれもに聞いてみよう」と気軽に話せる事業所・職員になっていかなくてはならない。その為に話を聞く姿勢「子ども達・保護者の方一人一人の声に耳を傾けていく姿勢」が大切であること職員全員が自覚し行動する。</p>
2	家庭、事業所、学校の連携が密になり、子どもはもちろん、保護者のサポートも行えるよう、積極的に働きかけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談(家庭や学校等での困り感)に応じ、問題解決や改善策に積極的に取り組んでいる。例えば、学校での学習のつまずきについては、子どもの困り感が軽減されるよう学校と連携を図り対応できている。 また、家庭において基本的な生活習慣が不安定となった場合など、保護者や関係機関等と緊密に連携を図り、その改善策に取り組むことができている。 	<p>困っている子ども達やご家庭に積極的に対応して行くことがぷれもの使命・取り組みだと考える。</p> <p>・引き続き、保護者のニーズに応じていけるよう、関係機関との連携を緊密に図っていく。また、保護者の不安や悩みに迅速に対応し、安心していただけるよう努める。</p>
3	長年働いている指導員が多く、子供達の特性や性格を理解して接することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士のコミュニケーションを多くとり、子どもや保護者の様子で気になる事を伝え合っている。 ・担当者を中心に、子ども一人一人の支援に取り組んでいる。また、事業所内ケース会議を定期的で開催し、振り返りを行い、支援の改善につなげている。 	<p>今後も些細な内容でも話し合うことで情報を共有してい</p> <p>く。</p>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職かつ若い職員が多く、これから基礎的な研修に加えて、様々な体験が必要であること。	<p>保育士、言語聴覚士、児童指導員、公認心理士、作業療法士と様々な職種をもった職員たちが集まっている。その職員に、5領域の理解をはじめ、障がいの基本的な理解、ICFに基づくアセスメント、記録の録り方、本人主体の支援、さらに子ども達の小さな表情の変化・視線・仕草に気付いていけるような観察力を身につけてもらいたい。</p> <p>・作業療法士・言語聴覚士・心理的支援など専門職による直接支援を行っている。しかし、職員の転職・退職者が複数になると、代わりの職員を近隣で確保することが難しい。</p>	<p>資質向上に必要なさまざまな研修や、現場・地域での実践を通じて職員の育成に努めるだけでなく、若い人たちの感性も大切にしていきたい。</p> <p>・必要な人材が確保できるまでの間、現有の直接支援者が研修を重ね専門性につながる支援に取り組んでいく。</p>
2	子どもに対する家族の対応力向上のための「ペアレントトレーニング」等や家族が参加できる研修の場の提供及び情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの個別相談に対するアドバイスや助言はできているが、多くの保護者を対象とした研修や情報提供の取り組みはできていない。 	<p>・今後は年間計画に研修等を組み込むなど、子どもに対する家族の対応力向上につなげていく。</p>

3			
---	--	--	--